

令和 7 年度

事業報告書

特定非営利活動法人 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

1 事業の成果

「ノーモア・ヒバクシャ継承センター」設立への第一歩として事務所、資料庫の一部の大学生協杉並会館への移転を実施。デジタル・アーカイブズを拡充、ウェブサイトの多言語化を達成。マンスリー・サポーター募集のクラウドファンディングやメールマガジン創刊で支援者拡大と広報を達成。これからの継承を考えるワーキング・グループ立ち上げ、メディアや研究者とのワークショップ開催。日本被団協をはじめとする諸団体と連携して被爆・戦後 80 年イベントを開催、今後も協働するノーモア・ヒバクシャ継承ネットワークを結成。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【6959】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
原爆被害の実相・原爆体験・原爆被害者運動などの記録・資料の調査、収集、整理、保管事業	東京都生協連会館及び民間倉庫に一時的に預けてあった不定形資料等を杉並事務所のある大学生協杉並会館地階特設資料室に移転し、新たな寄贈書籍・冊子類の整理・保管・目録作成の作業を継続的にすすめています。 所蔵する被爆者運動史料のうち、70 年代中央行動、77 シンポ生活史調査史料、地方被団協史料などを電子化（外注）しました。	2026/3/9～ 3/31 2025/11～ 0226/1	南浦和資料室 杉並資料室 南浦和資料室 杉並資料室	運動史料・写真、書籍の整理、目録作成、延べ 100 人 延べ 20 人	学生・院生、研究者、一般市民、被爆者、報道関係者 同上	不特定多数 不特定多数	2,031
原爆関連資料の収集、保管諸団体の共同ネットワークの構築事業	日本被団協のノーベル平和賞受賞をうけ、取材や講演・原稿の依頼、見学が数 10 件に及びました。平和学会やヒロシマ国際シンポなどへの参加は、当会の史料の意義を伝えるとともに、今後の各研究機関、資料館、関係者との協働への貴重な機会となりました。 平和のための博物館市民ネットワーク全国交流会にて本会の活動を報告、ノーモア・ヒバクシャ継承の意義を全国に広報しました。	2025/4～ 2026/3 2026/2/7	南浦和資料室、館大ばきパ島会など 立命館大学いきん広場 大阪らياس、国際会議場 京都みやこめっせ	延べ 40 人 1 人	学生・院生、研究者、資料関係者、一般市民、被爆者、報道関係者 平和のための博物館関係者、一般市民	不特定多数 不特定多数	138

	被爆・戦後 80 年イベント終了後、今後も継承活動を協働するため、日本生協・日青協・日本生協連、核兵器をなくす日本キャンペーン、ピースボートとともに、「ノーモア・ヒバクシャ継承ネットワーク」を結成しました。	2025/10/12 ～ 2026/1/13	参 加 各 団 体 事 務 所 及 び オ ン ラ イ ン	延べ 50 人	継 承 に か か る 人 び と、 被 爆 者、 一 般 市 民	不 特 定 多 数	
原爆被害者運動関係の調査・研究事業	これからの継承を考えるワークショップを開催し、被団協運動資料をメディア発信、研究に活かす方法を検討しました。	2025/6/13 2025/12/13	プ ラ ザ エ フ 5 階 会 議 室	延べ 10 人	報 道 関 係 者、研 究 者・学 生・院 生、被 爆 者、一般 市民	不 特 定 多 数	164
	本会の史料整理に携わってきた昭和女子大学の戦後史プロジェクトは、2025 年の学園祭で企画展「被団協関連文書をひもとく ― 私たちと史料との対話 ―」を開催。そのために、数次にわたる史料調査を実施し、展示史料の貸し出しも行いました。	2025/4～ 11/8・9	南 浦 和 資 料 室 昭 和 女 子 大 学	延べ 40 人	同 上	不 特 定 多 数	
	長崎被災協の史料整理に携わる研究グループの研究報告をうけ、合同の研究会を開催しました。	2025/10/18	昭 和 女 子 大 学	4 人	同 上	不 特 定 多 数	
原爆資料の活用・普及及び若い人々へ活動参加を促す企画・イベント・情報提供などの啓発・出版事業	被爆・戦後 80 年企画の実行委員会に参加し、10 月 11 日に「被爆・戦後 80 年 核兵器も戦争もない世界を求めて～記憶を受け継ぎ未来へ～」を開催。オンラインも含め 500 人程がノーモア・ヒバクシャを呼びかけました。アーカイブ視聴を継続しています。 「被爆 80 年を超えて一緒に考えよう これからの継承のカタチ」をテーマにイベントを開催	2025/4/4～ 10/11 毎月	各 地 会 議 室、有 楽 町 朝 日 ホ ー ル オ ン ラ イ ン	延べ 90 人 延 べ 58 人	一 般 市 民、被 爆 者、報道 関係者	同 時 参 加 者 他 500 人 特 定 不 多 数 162 人	2, 145
恒久的な公共機関「ヒバクシャ記憶遺産」のアーカイブ資料館の設立に関する事業	所蔵資料の電子化（スキヤニング、マスキング）作業をすすめ、デジタル・アーカイブズに収納する各都道府県の被爆者団体が作成した被爆証言冊子を拡充しました。	2025/4/1～ 2026/3/31	南 浦 和 資 料 室 及 び オ ン ラ イ	延べ 30 人	一 般 市 民、被 爆 者、学 生、研究 者、報道 関係者	不 特 定 多 数	1, 272

	「全国証言マップ」の作成に参加する人を増やせるよう、入力仕様の改善を図り、併せてサーバーの移転、基盤システムの変更、保守管理体制の確立を行いました。	2025/4/1～ 2026/3/3	四谷事務所 及びオンライン	延べ24人	会員、被爆者、メディア関係者、研究者、一般市民	不特定多数	
会の活動状況 や原爆資料に 関するニュース 発行、HP開設 の広報事業	『ノーモア・ヒバクシャ通信』の発行。	ノーモア・ヒバクシャ通信3回発行（69号7/16、号外10/2、70号2/13）	四谷事務所	延べ50人	会員、一般市民	紙媒体は毎回450～500人）	1,206
	継承に興味関心のある人たちの参加を拡げるため月刊のメールマガジンを創刊しました。毎月1回送信。	2025/4/1～ 2026/3/31	四谷事務所 及びオンライン	延べ36人	読者、一般市民	550人	
	本会ホームページの内容を一見して分かり易く、各コンテンツ（特にオンラインミュージアムとデジタル・アーカイブズへのアクセスを容易にするためトップページを全面的に改訂、また、国外からのアクセスを促進するため8ヶ国語運用を開始しました。	2025/4/1～ 2026/3/31	四谷事務所 及びオンライン	延べ90人	会員、被爆者、メディア関係者、研究者、一般市民	不特定多数	
	本会活動の2024年度年次報告書を作成し、会員拡大、賛助団体拡大等のために使用しています。	2025/9/1～ 9/30	四谷事務所	延べ10人	賛助会員・団体候補、一般市民	不特定多数	
	本会の存在を広報し、支援者を拡大するためマンスリー・サポーター100人募集クラウドファンディングキャンペーンを実施しました。	2025/6/23～ 2025/8/15	四谷事務所 及びオンライン	延べ90人	一般市民、支援者	不特定多数	
	本会活動の広報、賛助団体拡大のため、日本生協連に協力して、広報ビデオを作成、本会YouTubeチャンネルに掲載しました。	2026/3/1～ 3/31	四谷事務所、南浦和資料室	延べ15人	賛助会員・団体候補、一般市民	不特定多数	
	全国証言マップに3名の体験記を掲載	2025/4/1～ 2026/3/31	オンライン	延べ3人	全市民	不特定多数	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)
なし	なし				

令和7年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会
(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】 経常収益			
1	受取会費		2,629,000
	正会員受取会費	1,180,000	
	賛助会員受取会費	519,000	
	賛助団体受取会費	930,000	
2	受取寄附金		4,416,515
	一般募金	2,110,360	
	継承センター設立募金	632,000	
	マンスリーサポータクラウドファンディング	1,674,155	
3	受取助成金等		400,000
	連合・愛のカンパ	400,000	
4	事業収益		2,000
	DVD「声が世界を動かした」頒布	2,000	
	DVD「原爆は人間として生きることも死ぬことも許さなかった」頒布	0	
5	その他の収益		18,207
	普通預金利息	1,707	
	雑収益	16,500	
経常収益計			7,465,722
【B】 経常費用			
1	事業費		
	(1) 人件費		3,205,911
	給料手当	2,444,608	
	通勤費	201,765	
	法定福利費	94,831	
	活動費	464,707	
	(2) その他経費		3,753,158
	DVD頒布原価	1,240	
	業務委託費	554,950	
	諸謝金	33,341	
	印刷製本費	12,200	
	会議費	13,000	
	旅費交通費	166,374	
	通信運搬費	616,614	
	消耗品費	134,840	
	修繕費	29,700	
	地代家賃	870,100	
	賃借料	121,107	
	広告宣伝費	69,376	
	新聞図書費	3,420	
	史料保管料	115,500	
	減価償却費	841,764	
	諸会費	101,000	
	支払手数料	28,218	
	雑費	40,414	
事業費計			6,959,069
2	管理費		
	(1) 人件費		2,216,954
	給料手当	1,804,740	
	通勤費	143,792	
	法定福利費	74,129	
	事務局活動費	194,293	
	(2) その他経費		1,938,345
	印刷製本費	11,650	
	会議費	26,997	
	旅費交通費	34,963	
	通信運搬費	569,251	
	消耗品費	319,746	
	地代家賃	385,000	
	広告宣伝費	93,804	
	減価償却費	19,255	
	租税公課	777	
	支払手数料	345,896	
	管理諸費	110,000	
	雑費	21,006	
管理費計			4,155,299
経常費用計			11,114,368
当期経常増減額【A】－【B】・・・①			-3,648,646
【C】 経常外収益			
	過年度損益修正益		
経常外収益計			0
【D】 経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③			-3,648,646
	法人税、住民税及び事業税・・・④		70,000
	前期繰越正味財産額・・・⑤		14,596,462
次期繰越正味財産額③－④+⑤			10,877,816